

平成28年度 海外研修報告会

財務課 小西 達也
学生・キャリア支援課 大野 矩子



目次

I .研修概要

II .まとめ

III .詳細

1 .語学学校

2 . MJIT (日本国際工科院)

3 .クアラルンプール大学

4 . マラヤ大学

5 . MJHEP (マレーシア日本高等教育プログラム)

I .概要

期間

平成29年1月15日(日)～1月22日(日)

場所

マレーシア クアラルンプール

目的

事務職員のグローバル化を促進するため、海外の大学を視察するとともに、現地での語学研修を行う。

内容

語学研修：1月16日～1月20日

大学・教育機関視察：1月16日～1月20日

(MJIT・クアラルンプール大学

・MJHEP・マラヤ大学)

日程表

月日	午前	午後
1月16日(月)	語学研修	UTM (マレーシア工科大学) -MJIT (日本国際工科院) 訪問：施設見学
1月17日(火)	語学研修	UniKL (クアラルンプール大学) 訪問：インタビュー
1月18日(水)	語学研修	MJHEP (マレーシア日本高等教育プログラム) 訪問：インタビュー、施設見学
1月19日(木)	語学研修	MJIT訪問：インタビュー、施設見学
1月20日(金)	語学研修	UM(マラヤ大学) 訪問：施設見学

Ⅱ.まとめ

1.語学研修

文法の授業ではあるが、先生がおしゃべりな方で自然な会話も学ぶことができた。授業は5日間で合計12.5時間。

2.大学・教育機関訪問

- ・インタビューでは、主に留学生やインターンシップへの取り組みに関する現状と今後の方針について伺った。

特に、留学生派遣における日本の大学との連携強化について、将来的なビジョンを含めて話を伺うことができた。

- ・施設見学では、主に学生寮を案内してもらった。UTMでは日本人留学生と偶然出会い、話を聞くことができた。

Ⅲ詳細 - 1.語学研修

- 場所 : 語学学校(Inter-Cultural Language School)
- コース : Intensive Class
- 内容 : 授業時間は毎日10:00~12:30
should, have to, mustの用法、前置詞の用法
書き換え英作文、リスニング、
スピーキング（先生、クラスメイト）、
最終日には定着度を確認するテストを行った。
- 使用教材: New Headway Forth edition
(OXFORD UNIVERSITY PRESS)

Ⅲ詳細 - 2. MJIT

- ▶ 日本・マレーシア両政府の協力で2011年にUTM内に開校。
- ▶ UTMのうち、大学3学部・大学院4学科を担う。
- ▶ 現在、日本の協力大学は27校。(2016年：京都大学)

大学	化学工学科 (CPE)	電子システム 工学科 (ESE)	機械精密工 学科(MPE)	
大学院	環境グリーン 工学科(EGT)	電子システム 工学科 (ESE)	機械精密工 学科(MPE)	経営学科 (MOT)



MJITキャンパス



👉👈 学内のモスク



👉👈 随所に日本らしさも

MJIIT – 学生寮



👉 学生寮外觀



👉 室内

👉 寮内の庭

MJIIT – インタビュー (留学生)

- 《日本人留学生3名》
 - 実践的な授業。
 - とても親日的
 - ←日本への留学経験者や希望者が多い。
 - 大学から丁寧な情報提供
 - 留学決意の決め手。
- 事前の詳細な設備情報入手が重要。
- 保険とVISA申請に注意!



MJIIT – インタビュー（教職員）



MJIIT – インタビュー（教職員）

■ 日本型教育の導入 ← JICAスタッフの協力

「i-Kohza」・・・いわゆるゼミ授業。マレーシアではグループ単位で先生と関わる機会がない。
→学生同士で教え合う環境作り。
インターンシップは主に日系企業へ。

⇒ 日本式の教育“ものづくりの精神”との融合。

- 工学系全体の30%～40%が女性。
中には女性率80%のゼミも。

MJIIT学生作品👉



MJIIT – インタビュー（教職員）

■ マレーシアの教育環境

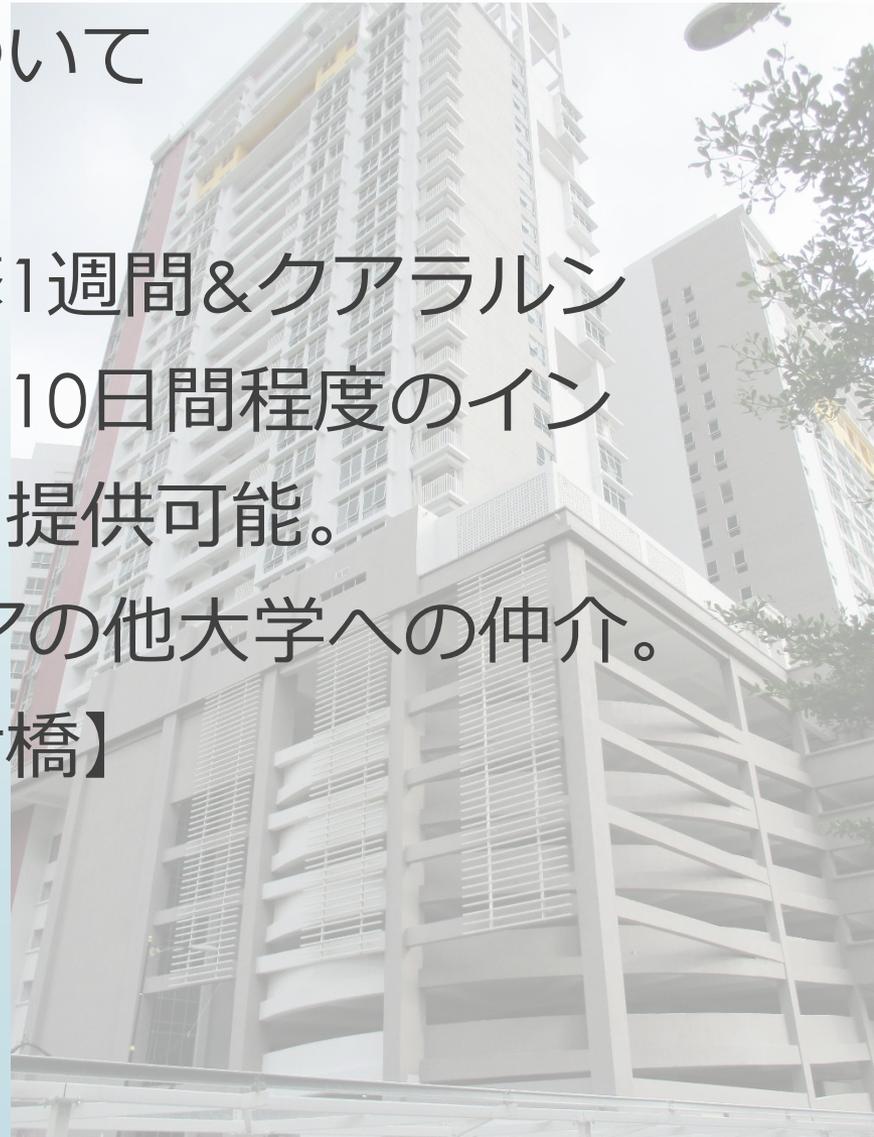
- ・ 実用的な英語力の高さ。（複数民族の共存）
- ・ 数学等の理系科目を英語で実施。
- ・ インターンシップを重視。（JABEEに準拠）※平均3ヶ月
- ・ 女性は、より良い就職のために学歴が必要。
- ・ 理系に進む女性の支援（奨学金・選抜システム）

7歳、15歳、17歳で優秀な学生を理系に選抜



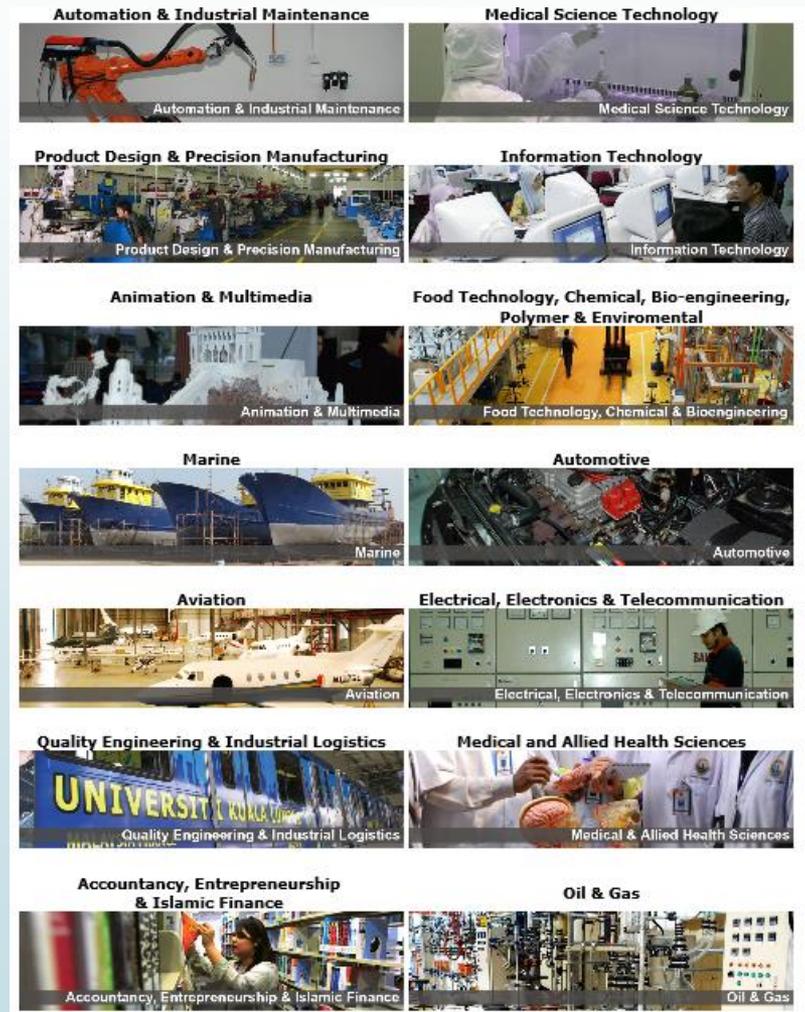
MJIT – インタビュー（教職員）

- 本学との連携の可能性について
 - ・ 理系女子学生の受け入れ。
 - ・ 短期ステイ（例：語学研修1週間&クアラルンプールの日本系オフィスで10日間程度のインターンシップ）を寮付きで提供可能。
 - ・ MJITを通じた、マレーシアの他大学への仲介。
【マレーシアと日本の架け橋】



Ⅲ詳細 - 3.クアラルンプール大学

- 2002年に統合された技術系私立大学。
- 学生数29,043人。
- 14の支部...専門性と実践性の高いプログラム提供)
- 留学生は現在200名以上。
(2009年...3名)
- 国内でもたびたび表彰されるなど、急成長中。
- 学費は年間60万円程度



クアラルンプール大学-インタビュー

■ 社会で通用する人材の育成

➔ 講義3割・実習7割

➔ 実習を重視。

国内広域に支部を配置。

■ 教育は『福祉』の一環

➔ 支援するマラ財団の理念

「貧困改善と産業発展」

...民間企業と大学で設備や
技術を共有しているほか、

イスラム圏の市場を調査したい外国企業との協力など。



Ⅲ詳細 – 5. マラヤ大学

- ▶ 1905年に創立。1948年に現在のマラヤ大学に
学生数は17,580名。そのうち留学生は3,712名。
- ▶ 教職員数は5837名。
- ▶ 障害学生のための施設整備に注力している。



マラヤ大学入口

キャンパスツアー



屋外の休憩スペース



宿舎の外観

キャンパスツアー



寮の廊下



寮生の洗濯場

キャンパスツアー（学生寮）

▶ キャンパス内のバリアフリー化を目指す

▶ **OKU**用の部屋やトイレを設置

※OKU=Orang kurang upaya

▶ 障害の度合いを考慮しながら
OKU同士のルームシェアも
行っている。

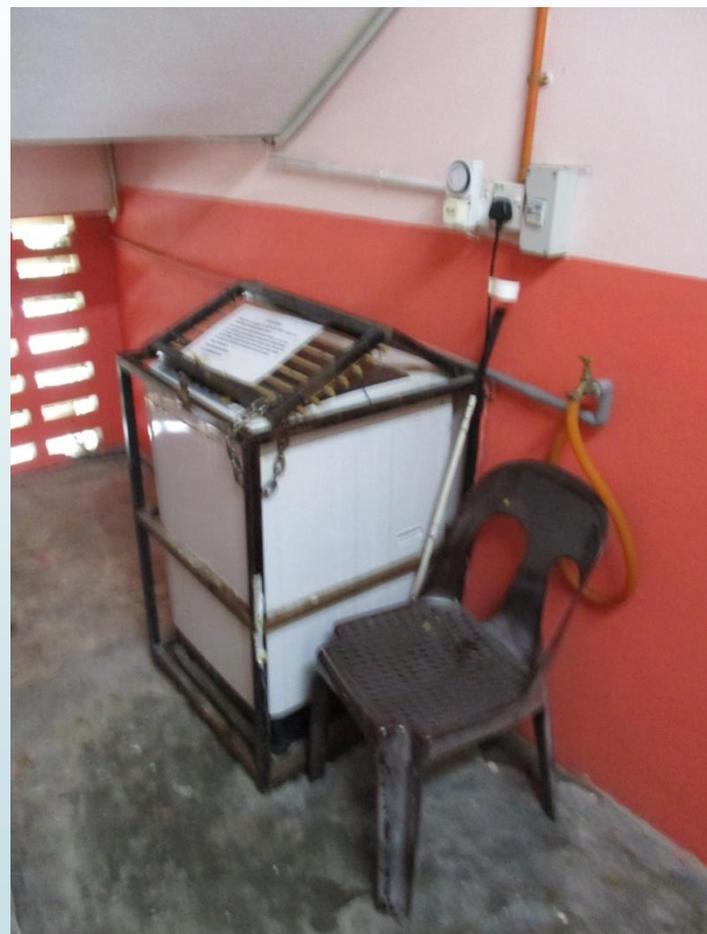
車椅子使用者のための部屋
スイッチが低めに設置されている



キャンパス内のバリアフリー化



OKU用トイレのマーク



OKU専用の洗濯機

キャンパス内のバリアフリー化



OKU専用の学生活動部屋

Ⅲ詳細 - 4.MJHEP

- ▶ マレーシア政府資金による留学生派遣事業
- ▶ 学生数は393名。今年は117名が来日予定。
- ▶ 日本の23大学と個別に提携。

マレーシア

日本語中心の予備教育1年 + 工学系大学教育2年

日本（明治大学、芝浦工業大学、etc）

理工系学部の3年次に編入

カリキュラム

MJHEP

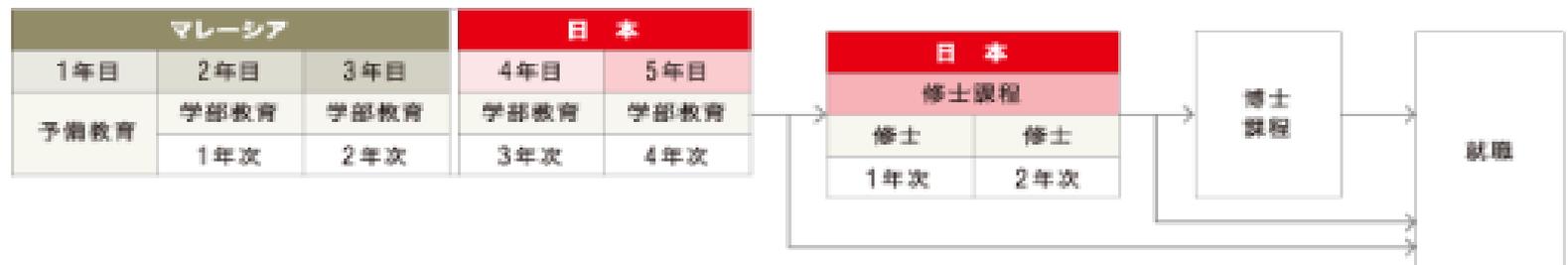
語学科目	
基礎日本語	日本語4技能(読み・書き・聞き・話し)の基礎的能力を習得する。
工学日本語	科学技術分野の日本語と中級レベルの文法・文型、漢字・語彙を習得する。
科学技術日本語	科学技術関係の文章に現れる文法や語彙を習得し、上級レベルの読解力を養う。
総合日本語	日本において、自律的に日常生活や大学での学習・研究活動が可能となるような総合的な日本語運用力を身につける。



マレーシアで習得する主な専門科目				
機械工学コース	機械工学概論	機械設計演習 1,2	熱力学演習 1	制御工学
	工業力学	機械計測	加工学	制御工学演習
	工業力学演習	機械計測演習	機械力学	機械工学実験 1,2
	材料力学 1,2	機構学	機械力学演習	機械工作実習 1,2
電気電子工学コース	材料力学演習 1,2	機械要素	流体力学	卒業プロジェクト
	機械設計 1,2	熱力学 1,2	流体力学演習	
	電気電子工学概論	電子回路演習 1,2	電気電子計測	電気工学実験 1,2
	電気電子数学	電磁気学 1,2	高度情報処理 1,2	電子工学実験 1,2
	電気回路理論 1,2,3	電磁気学演習 1,2	高度情報処理演習 1,2	卒業プロジェクト
	電気回路理論演習 1,2,3	物性工学	制御工学	
	電子回路 1,2	物性工学演習	制御工学演習	

(2016年10月 現在)

教育システム



MJHEP – インタビュー

- ▶ 教員は54名中18名が日本人
- ⇒ 現地人の36名も全員が日本留学経験者
- ▶ 4000人以上の志望者から100人のみ選出
- ⇒ 少数の優秀な学生を選抜（男女比率は半分に調整）
- ・ 学部生には教育、院生には経済支援のみ行っている。



MJHEP校舎入口

キャンパス内には桜の絵も👉



MJHEP – インタビュー

■ 派遣留学生に期待すること

- ・ 日本語を武器として使いこなせるようになってほしい。
⇒ MJHEPでは日本語教育を厳しく行っている。留学先でも日本語で授業を受け、日本語を習得してほしい。
- ・ 目標は大学の学位取得ではない。
⇒ 職務経験を2～3年積んでからマレーシアに帰ってきてほしい。
⇒ マレーシアで即戦力になる好経歴とみなされ、キャリア形成に有利。



MJHEPの教室

MJHEP – インタビュー

■ 留学先（日本の大学）に求めること

- ・ 国立大学との連携強化。（学部生）
 - ・ 留学先分散のため、少人数を様々な大学に派遣したい。
 - ・ 環境学や鉄道技術方面での留学先の拡充。
 - ・ 寮が利用できること。
 - ・ イスラム教徒対応のハラール料理が食べられる周辺環境。
- ※MJHEP職員が定期的に留学先へ訪問し、学生の様子をモニタリングしている。



MJHEP – インタビュー

- 本学との連携の可能性について
 - ・ 文教育学部と、教員の日本語研修で連携できないか。
 - ・ 理系でない日本語教員たちに、キャリアアップのチャンスを与えたい。
 - ・ 提携はコンソーシアムではなく、各大学と個別に行っている。





Malaysia

